

第 16 期(令和 5 年度)事業報告書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

NPO 法人サウンドウッズ

1 活動の成果

法人成立 15 年度目(16 期)にあたる今年度も、木材利用による収益を森に還元し、次の世代に森を引き継ぐ森づくり支援を実践した。まちづくりや多様な建築・インテリア分野において、木材利用に対する関心が益々高まる中、サウンドウッズが提唱する、森づくりに直結する木材利用の意義や、木材コーディネーターの役割に、大きな関心が集まった。

今年で第 13 回目となる人材育成事業「木材コーディネート基礎講座」は、オンライン座学と対面での演習(東京・埼玉飯能・兵庫丹波・大阪)を組み合わせた、ハイブリッド開催を継続した。18 名の新規受講者が参加し、累計受講者は 209 名に、過年度受講生を含む 16 名の修了者を輩出し、累計修了者数は 173 名となった。オンラインと対面のハイブリッド開催に移行して、すべて対面開催としていた過去年度に比較して受講者負担は大幅に軽減できているが、事務局の運営負担の増大が課題であった。今年度から導入した、受講生に google アカウントを配布し、各種の連絡情報共有や講座資料や考査の授受、講師による受講指導などをオンライン上で行うシステムの導入を試験実施した。無事に一年の講座を終えることができ、受講生の満足度も高く、事務局負担も軽減できたことは、活動成果として上げておきたい。

今年度で 4 年目となる認定木材コーディネーター認定事業では、今年度新たに 1 名を認定し、前年度と合わせて認定者は累積 7 名となった。認定木材コーディネーターに対する認知を高めることを目的に、各所の講演会等での講師に推薦するとともに、オンラインコンテンツとして広報にも注力した。

令和 3 年度から公開しているサウンドウッズチャンネルの事業では、オンラインコンテンツの充実を図る目的で、対面開催のフォーラム形式の討論会を運営しライブ配信を行った。過去年度に引き続き、木材コーディネート講座の一部をオンライン配信するライブ中継番組、木材コーディネーターを紹介するインタビュー動画の編集公開に加えて、森とまちをつなぐ活動への賛同を呼びかけるフォーラムの開催を年間 2 回(うち 1 回は令和 4 年度事業の順延開催事業)実施した。

まず本年度当初に実施した『サウンドウッズフォーラム 2024「木のまちをつくりつづけるために」(令和 5 年 4 月 27 日)』の開催は、令和 3 年度に完成した、京丹波町役場新庁舎を会場に、地域の木材の利用をテーマに、全国の木材供給者、建築士、行政関係者他、合計 154 名(会場参加者 111 名、オンライン参加 43 名)との熱のこもった討論を展開することができた。当日の施設解説および、パネルディスカッションの様子は、動画コンテンツとして編集公開している。

また、全国で活動する木材コーディネーター 30 名を招聘し実施した『木材コーディネート会議 2024 OSAKA(令和 6 年 3 月 9~10 日)』では、木材コーディネーターの活動実績をより広く広報し、コーディネーター間での情報共有やコミュニティの活性化を目的とした、「木材コーディネーター情報プラットフォーム」の実践について、充実した意見交換を行った。分科会報告・パネルディスカッションの様子も動画編集し、サウンドウッズチャンネルで公開した。盛会となった「木材コーディネート会議」への参加者からは、継続した実施『木材コーディネーターサミット』への期待もあり、実施を前向きに検討したい。

収益事業として、過去年度に引き続き静岡県・三重県・広島県・奈良県や府県建築および木材供給関連団体等からの依頼を受けて、市町行政担当者、地域の建築士、木材供給者向けの地域の森林資源を活用した木材利用に関する人材育成研修プログラム、視察ツアー、設計演習講座の運営支援を行った。また、地域の森林とまちづくりをつなぐ相談窓口の運営支援(静岡・兵庫・広島)や、新たに市役所内の木材利用実績を高めるための、庁内技術者向けの研修会・相談対応(神戸市)にも新規で取り組んだ。

公共建築物の木造木質化にかかる地域の木材利用を進める発注支援・設計支援の取り組みも、過年度から継続するものを含め 5 物件(福井県池田町・三重県・京都市・東京都・静岡県)に取り組みが波及し、各施設は完成に向けて、年度をまたいだ支援が継続している。

なお、過去に取り組んだ竣工物件が、木材の調達ならびに木材利用の優良な事例として、魚津市立星の杜小学校(富山県 2021 年竣工)が、『第 17 回木の建築賞選考委員特別賞』、小鹿野町役場新庁舎(埼玉県 2022 年竣工)が、『令和 5 年度木材利用優良施設コンクール農林水産大臣賞』を受賞したことは、今後の活動を後押しとなる評価をいただいた喜ばしい成果であった。

2 特定非営利活動に係る事業

(1) 自主事業(非収益事業)

事業名称	継続 A-01 木材コーディネート講座運営事業
資金調達	受講者参加費
実施期間	令和5年9月～令和6年2月
実施場所	東京都港区・飯能市・丹波市・大阪市中央区、オンライン
概要	自主事業による人材育成・認定事業。平成22年度から始め、今年度が13年目の実施となった。2023年度第13期開催は、座学、プレゼンテーション演習をオンラインで実施し、演習は対面で埼玉県飯能市、兵庫県丹波市で開催した。 森林林業分野・木材流通分野・建築等木材利用分野から多彩な受講者を全国から集め、合計18名の新規受講者による講座を行い、過年度受講者を含め16名の修了者を数えた。オンラインと現地対面での開催も3年目となり、オンラインでの受講管理システム google classroom の活用により、受講者と事務局双方の情報共有の負担を軽減する運営改善の取り組みを実施した。試行の中で課題抽出を行い、次年度以降の更なる効率化を図る目標設定を行った。

事業名称	継続 A-02 准木材コーディネーター認定事業
資金調達	受験者参加費
実施期間	令和6年1月～3月
実施場所	オンライン
概要	木材コーディネート基礎講座修了者を対象とした、資格認定の仕組みとして実施。完全オンラインでの運営を試みて3年目となる今年度は、設問の見直しを行い、時事問題を含むアップデートを行った。15名の准木材コーディネーターを輩出することとなった。

事業名称	継続 A-03 認定木材コーディネーター認定事業
資金調達	認定申請者参加費
実施期間	令和5年4月～令和6年3月
実施場所	大阪・全国
概要	准木材コーディネーターを対象とした上位認定として、「認定木材コーディネーター」の制度運用を行った。申請者の審査により1名の認定を行い、オンラインにて活動内容の配信を行った。

事業名称	継続 A-04 サウンドウッズチャンネル
資金調達	公益社団法人国土緑化推進機構 緑と水の森林ファンド助成金
実施期間	令和5年7月～令和6年3月
実施場所	オンライン
概要	木材コーディネーターの取組事例や、木材コーディネートに取り組むために必要なスキルを伝授する情報発信を行った。 オンラインミーティングを活用したことにより、全国からの参加があり、活発な質疑応答やアンケートツールの活用により、サウンドウッズの取組に対する賛同者との交流の機会を得た。 木材コーディネート講座の紹介や、講師による特別講義、木材コーディネーターの先行事例を、当事者にインタビューする認定木材コーディネーターの活動を紹介などの動画を作成して公開した。 今年度実施したフォーラムやシンポジウムの開催コンテンツを、公開用動画に編集し公開することで、会場に参加できなかった関心層にも、活動内容の情報提供に取り組んだ。

	<p>法人で木材調達発注支援に取り組んだ、京丹波町役場新庁舎を会場とした、サウンドウッズフォーラム「木のまちをつくりつづけるために」を開催し、事業概要の報告と、当日のパネルディスカッションの様子を動画公開した。</p> <p>加えて、新たな取り組みとして全国の木材コーディネーターが集う「木材コーディネート会議2024OSAKA」を開催し、当日の議論の結果を動画公開した。</p> <p>それらのコンテンツ広報を行うことで、サウンドウッズの取り組みを周知することで、森とまちの距離を近づけ、当法人で提唱する木材コーディネーターの役割を、より広く社会的理解につなぐ活動を行った。</p>
--	--

事業名称	継続 A-05 京都府立林業大学校講義実習業務「木材コーディネート1・2」講義実習業務
資金調達	京都府農林水産技術センター森林技術センター
実施期間	令和5年4月～令和6年3月
実施場所	京都府京丹波町・兵庫県丹波市
概要	森林林業科の学生向けの授業(座学・演習)科目を受託し、講義および演習運営を行った。

(2) 受託事業(収益事業)

事業名称	継続 B-01 静岡県市町木材利用促進支援業務
資金調達	静岡県
実施期間	令和5年6月～令和6年2月
実施場所	静岡県
概要	静岡県内の市町担当者に対して、県産材を活用した公共施設整備を促すための、研修会、視察ツアー、相談対応を行う業務。県内4か所において、公共施設木造木質化に関連する概論を伝える「基礎研修」を4回実施し、建築コスト・メンテナンス・建築構法の3分野を「テーマ別研修」として3回実施した。また、県内優良木造施設と木材供給事業者を訪ねる「視察ツアー」を合計2回実施した。市町行政担当者が業務の中で抱える、公共建築物の木造木質化、県産材利用に関する疑問や質問を受けるワンストップ窓口を開設し、専門家による回答を提供した。

事業名称	継続 B-02 三重県中大規模木造建築セミナー運営業務
資金調達	三重県
実施期間	令和5年7月～令和6年2月
実施場所	三重県津市他
概要	三重県内の建築士、森林林業および木材製造流通事業者と、行政担当者向けに、非住宅分野の中大規模建築物の木造木質化をテーマとした研修会の運営を支援した。H30年度、R01年度に実施した設計セミナーを、R03年度も同じプログラムを踏襲し実施した。また県内市町行政担当者向けに、木造建築物の発注にかかる要点の基礎講座を2日、木造建築の維持保全および建設コストをテーマとした専門講座2日を実施した。

事業名称	継続 B-03 広島県木造建築セミナー運営業務
資金調達	広島県
実施期間	令和5年6月～令和6年2月
実施場所	広島県
概要	広島県内の建築士、木材供給事業者向けに木造建築を実現するための実践的な木材の知識と技術習得のための講座を行った。座学を5回、視察を1回、木材の測定実習を1回実施した。 また、県内の大学との連携により、建築や木材を学ぶ学生を対象とした研修講座を実施した。

事業名称	<u>継続</u> B-04 令和5年度 奈良の木を使用した建築を支える人材養成事業 木造非住宅建築技術者育成研修運営業務
資金調達	奈良県
実施期間	令和5年8月～令和6年2月
実施場所	奈良県
概要	奈良県内の建築士向けに、木造建築を実現するための専門家による設計セミナーを、合計5回実施した。

事業名称	<u>継続</u> B-05 地域における民間部門主導の木造公共建築物等整備推進事業
資金調達	(一社)木を活かす建築推進協議会
実施期間	令和5年7月～令和6年3月
実施場所	滋賀県
概要	令和3年・4年と取り組む木造建築セミナーの修了者を中心とした、非住宅建築物の木造木質化を推進する主体を組織する目的で、林野庁補助事業に参加した滋賀県森林政策課に専門家派遣され、協議会立ち上げのためのワークショップ開催等を支援した。

事業名称	<u>継続</u> B-06 池田町新庁舎図書館建設設計支援業務
資金調達	池田町
実施期間	令和5年4月～令和6年3月
実施場所	福井県池田町
概要	役場新庁舎および図書館、多目的ホールを兼ね備えた公民館建設を、町有林の木材を活用して実施するための、基本計画立案、木材調達計画および設計者選定のためのプロポーザル運営支援を行った。

事業名称	<u>継続</u> B-07 三重県立盲学校聾学校木材調達支援業務
資金調達	株式会社浦辺設計
実施期間	令和5年12月～令和6年3月
実施場所	三重県
概要	三重県産材を活用して建設が予定されている、県立盲聾学校校舎のための木材調達に係る設計支援業務。校舎床面積は約12,000㎡の木・RC混構造の施設整備に、県産木材の活用範囲や調達可能な仕様やサイズについて、地域の供給体制の実情を調査し、設計業務に反映するコーディネートを実践した。

事業名称	<u>継続</u> B-08 京都市立統合学校木造施設整備事業木材調達支援業務
資金調達	京都市
実施期間	令和5年4月～令和5年11月
実施場所	京都市・京都府内
概要	京都市産材を活用して建設が予定されている、小栗栖中学校区小中一貫教育校及び西陵中学校区小中一貫教育校2プロジェクトへの市産材供給のための発注支援、木材調達監理支援業務を行った。

事業名称	新規 B-09 東京都農林総合研究センター立川庁舎設計支援業務
資金調達	株式会社安井建築設計事務所
実施期間	令和5年4月～令和6年3月
実施場所	東京都
概要	都発注の施設整備における木材利用設計支援並びに、木材調達にかかる情報収集・分析・発注方法の提案を行った。

事業名称	新規 B-10 静岡県立中央図書館整備事業木材調達支援業務
資金調達	静岡県
実施期間	令和5年6月～令和6年3月
実施場所	静岡県・シーラカンズアソシエーション/日建設計/イダデザインJV
概要	県発注の県立中央図書館における木材利用設計支援並びに、木材調達にかかる情報収集・分析・発注方法の提案を行った。材工共分離発注で行う、県産材活用のための、仕様書整備ならびに発注図書作成支援を行った。

事業名称	新規 B-11 神戸市公共建築物木材コーディネート他業務
資金調達	神戸市
実施期間	令和5年9月～令和6年3月
実施場所	神戸市
概要	神戸市産・兵庫県産材活用の建築業務発注支援を行った。市発注担当者および設計業務受託設計事務所向けの相談対応と、市建築職員向け研修会(木造建築物の維持保全)をコーディネートし、市発注建築物への木材利用の意義や、今後の業務発注仕様の充実のための情報提供を行った。

事業名称	継続 B-12 地方自治体等行政団体向け専門家派遣および講演事業
資金調達	地方自治体 他
実施期間	令和5年4月～令和5年5月
実施場所	新潟県・佐賀県
概要	『森とまちをつなぐ木材コーディネート』をテーマとした講演・ワークショップ・ファシリテーションの企画を行い、当日の運営ならびに講師派遣を行った。

事業名称	新規 B-13 民間企業・団体向け専門家派遣および講演事業
資金調達	民間企業・団体 他
実施期間	令和5年4月～令和6年3月
実施場所	大阪府大阪市
概要	森林林業・木材製造流通・木造建築等木材利用の各分野の企業・業界団体、向けに、森と木材とまちと暮らしを繋ぐ研修会・ワークショップに出向き講演・ワークショップ・ファシリテーションを担う講師派遣を行った。

3 事業実施体制

(1) 通常総会

日時	令和5年5月18日 17:00～18:00
場所	NPO 法人サウンドウッズ丹波事務所 + オンライン
参加者	法人役員4名・事務局スタッフ1名 オンライン3名 委任状2名合計10名
議事内容	第13期(令和4年度) 事業報告、決算報告の承認
	第14期(令和5年度) 事業計画、活動予算の承認

(2) 役員・事務局体制

役員	代表理事	安田 哲也	令和5年4月～令和6年3月(任期6年5月末)
	副代表理事	能口 秀一	〃
	理事	山口 祐助	〃
	監事	北尾 靖雅	〃
常勤職員	事務局長	竹川 展弘	令和5年4月～令和6年3月
	業務スタッフ	下前 仁美	令和5年4月～令和5年6月(退職)
非常勤職員	研究員	島崎 淳二	令和5年4月～令和6年3月
		竹内 優二	〃
		藤田 良子	〃
		山田 真弓	〃
		日下 竹彦	〃
		松林 輝征	〃
		宮村 太	〃

(3) 会員

正会員 10名

賛助会員 25名 (20240331現在)

(4)NPO 活動を連携する自治体・団体・大学研究機関・企業 他

新潟県
静岡県
三重県
大阪府
京都府
兵庫県
奈良県
広島県
佐賀県
京都市
神戸市
福井県池田町
京都府農林水産部森林技術センター
京都府立林業大学校
高知県立林業大学校
みえ森林林業アカデミー
京都女子大学家政学部生活造形学科北尾研究室
三重大学大学院生物資源学研究科中井研究室
NPO 法人 teamTimberize
NPO 法人西川・森の市場
公益社団法人兵庫県建築士会
一般社団法人佐賀県建築士会
公益社団法人国土緑化推進機構
一般社団法人木を活かす建築推進協議会
一般社団法人安曇川流域森と家づくりの会
一般社団法人中大規模木造プレカット技術協会
京都府木材組合連合会
兵庫県木材組合連合会
静岡県木材協同組合連合会
広島県木材協同組合連合会
三重県木材協同組合連合会
一般社団法人佐賀県木材協会
株式会社エーゼログループ
株式会社東畑建築事務所
株式会社浦辺設計
株式会社安井建築設計事務所
有限会社香山建築研究所
桜設計集団一級建築士事務所
株式会社山田憲明構造設計事務所
木構造振興株式会社
蔵松屋
MORI・IKU
宮村太設計工房
円設計
島崎淳二建築設計室
ブレスアンドグリーン

以上